

2018年度

事業報告書

自 2018年 1月 1日

至 2018年12月31日

一般社団法人日本ゴルフツアー機構

2018年度 事業報告案

自 2018年 1月 1日

至 2018年12月31日

事業内容

1. トーナメント事業

本年度、国内、海外トーナメントは以下のように実施した。

(1) トーナメント事業の展開

- ① ツアートーナメント25試合の管理及び運営
 - ・国内23試合（ANAオープンは地震により中止）、海外共同主管2試合（試合数前年比1減）
減：HONMA TOURWORLD CUP
 - ・コースセッティングアドバイザー（渡辺司プロ、佐藤信人プロ、細川和彦プロ、田中秀道プロ、田島創志プロ）による戦略性に富んだコースセッティングの実施
 - ・プロアマでの同一ティー使用の推進
 - ・フォト撮影の解禁等、ファンサービスの充実
 - ・選手とのコミュニケーション強化
- ② AbemaTV ツアー（チャレンジトーナメント）12試合の管理及び運営（試合数前年比1増1減）
 - 増：i Golf Shaper Challenge in 筑紫ヶ丘
 - 減：ザ・ロイヤル ゴルフクラブチャレンジトーナメント
- ③ AbemaTV での全試合生中継を実施
- ④ 新規ツアー及びチャレンジトーナメントの開拓

(2) トーナメント関連事業

- ① アンチ・ドーピング普及啓発活動とドーピング検査
- ② ジャパンゴルフツアー表彰式の開催
12月3日（月）ANA インターコンチネンタルホテル東京

(3) 海外事業の展開

- ① フェデレーション会議及びオフィシャルワールドゴルフランキング会議への出席（マスターズ会場、全英オープン会場）
- ② 4大メジャー、WGC等国際大会への選手及び競技委員の派遣

- ③ 海外主要ツアーとの連携強化
- ④ 2020年東京オリンピック組織委員会への職員出向

2. ジュニア育成事業

本年度、ジュニア育成事業は以下のように実施した。

- ① スナッグゴルフによる小学校へのゴルフ普及活動
- ② スナッグゴルフ地区予選及び全国大会の開催
- ③ ジュニアゴルフ大会への支援活動

3. スコアリング事業

本年度、スコアリング事業は以下のように実施した。

- ① トーナメント会場に公式記録員を派遣し、公式記録を作成
- ② ホームページ・モバイルサイトで、一般閲覧者にリアルタイムスコア速報等の迅速かつ正確な情報発信と選手データ等、情報提供の強化

4. 広報事業

本年度、広報事業は以下のように実施した。

- ① ライブ放送、BS、CS、インターネット中継の推進
- ② ジャパンゴルフツアーオフィシャルガイドブックの発行
- ③ 英語版ホームページによる海外への情報発信の強化
- ③ フェイスブック、インスタグラム等、SNSを活用した情報発信の強化

5. チャリティ事業

本年度、チャリティ事業は以下のように実施した。

- ① 日立3ツアーズチャンピオンシップの企画運営（PGA、LPGA と共催）
- ② ザ・レジェンド・チャリティプロアマトーナメントの後援
- ③ ゴルフを通じた復興支援活動の継続

6. クォリファイングトーナメント事業

本年度、次年度の試合出場資格及びランキングの決定は以下のように実施した。

- ① ファーストクォリファイングトーナメント（2会場 204名参加）
- ② セカンドクォリファイングトーナメント（10会場 974名参加）
- ③ サードクォリファイングトーナメント（6会場 581名参加）
- ④ ファイナルクォリファイングトーナメント（1会場 191名参加）

7. ライツ事業

本年度、ライツ事業は以下のように実施した。

- ① 選手の肖像権・パブリシティ権等の知的財産権の保護・管理・運用

- ② デジタル・メディアに関する権利についての研究と適切な運用

8. コンプライアンス

本年度、コンプライアンスに関しては以下のように実施した。

- ① 反社会的勢力対策の普及啓発活動
- ② 選手に対するコンプライアンス・セミナーの実施による未然防止
- ③ 危機管理に卓越した弁護士との顧問契約による迅速かつ的確な対応
- ④ 監査法人との契約による経理チェックの強化

9. その他の事業

本年度、その他の事業は以下のように実施した。

- ① 16団体の連携によるゴルフサミット会議とゴルフフェアへの参加
- ② 日本プロゴルフ殿堂の支援活動
- ③ その他ゴルフ関連団体との協力支援

以上